

国際研究集会の御案内

東京大学史料編纂所では、ロシアに所在する日本関係史料の系統的な調査・研究と収集に取り組み、現地の研究機関と協力して国際研究集会や共同研究を行っています。通算 17 回目となる今回は、ロシアに密航した橋耕斎による日本のキリスト教報告、ボサドニック号事件を指揮したりハチョフ提督の対馬計画、函館領事館関係史料など、サンクトペテルブルクから三名の研究者を招聘し、ロシアの文書館が所蔵する史料群に基づいた報告をお願いしています。ぜひご参加ください。

日露関係史料をめぐる国際研究集会

日時:2017年5月23日(火)、14:00~17:00

会場:東京大学史料編纂所(大会議室)

▼報告1:ワジム・クリモフ上級研究員
(ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所)

「日本のキリスト教に関する
V.ヤマトフ(橋耕斎)の報告書」

▼報告2:ワレンチン・スミルノフ館長
(ロシア国立海軍文書館)

「イヴァン・フョードロヴィチ・リハチョフの
対馬計画(1860-1904)」

▼報告3:セルゲイ・チェルニャフスキー館長
(ロシア国立歴史文書館)

「在函館ロシア領事館
—ロシア国立歴史文書館史料より」

※終了後、レセプションを予定。



東京大学史料編纂所所蔵「ロシア使節レザノフ来航絵巻」



共催/東京大学史料編纂所 ・日本学士院

連絡先: 科研事務局 03-5841-8411

科学研究費補助金基盤研究(S)「マルチアーカイヴアル的手法による在外日本関係史料の調査と研究資源化の研究」(研究代表者: 保谷 徹)

※本集会は日本学士院による日本関係未刊行史料調査事業(国際学士院連合関係事業)の一環として行われます。

※史料編纂所大会議室(会場)は研究所の向かい側の建物、地下1階です。